

## 202nd IBB Seminar

# ペプチド合成・タンパク質化学による 生体分子の機能解明研究

## — 新潟での25年 —

講師：北川幸己教授

新潟薬科大学 薬学部

薬品製造学研究室

日時：平成30年1月19日（金）16:30～18:00

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

第二会議室 22号館（1階）



Abstract: 平成6年（1994年）10月に新潟薬科大学薬学部に奉職して24回目の冬を迎えている。幸い大過なく、この3月末で定年を迎えることができることを心から感謝している。25年に渡って新潟で行ってきたペプチド研究をまとめ、紹介させていただくことでご支援ご鞭撻をいただいた関係の皆さまへのお礼としたい。具体的に、新規固相合成法を基盤とした硫酸化チロシン含有ペプチドの生物有機化学的研究、硫酸化チロシンの関与する生体反応の解析研究、タンパク質硫酸化の機能解明研究、抗硫酸化モノクローナル抗体作成による硫酸化プロテオーム解析研究等を紹介したい。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

田辺、亀井（内線 8036）

